



## DNW-18030 の概要

課題番号 : DNW-18030

課題名 : 難治性・治療抵抗性に関わる分子を標的とした新規がん治療薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

谷口 博昭 (学校法人慶應義塾慶應義塾大学医学部)

課題番号 DNW-18030 では、難治性・治療抵抗性に関わる蛋白質 X を標的として、新たながん治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

標的蛋白質 X は腫瘍組織特異的に発現し、抗がん剤耐性、遠隔転移、アポトーシス抵抗性、未分化性及び造腫瘍能に重要な役割を果たしていることを見出した。また、蛋白質 X の機能発現に重要と予想される結合蛋白質候補を見出しており、機能発現に重要な結合蛋白質を同定した上で、標的蛋白質 X との結合阻害薬の創製を目指す。

- ターゲットプロダクトプロファイル :

有効な分子標的薬のない、蛋白質 X を発現する難治性乳がん、すい臓がんなどに対して、単剤又は既存薬との併用によって抗腫瘍効果を示す分子標的薬。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

標的蛋白質 X の過剰発現によって抗がん剤耐性化や腫瘍増殖亢進などが認められ、標的蛋白質 X ノックダウンにより抗がん剤耐性化の解除や腫瘍増殖の抑制などが認められた。また、蛋白質 X と結合する複数の蛋白質を免疫沈降法や Biacore などの解析から見出している。

- 最終目標 :

蛋白質 X の機能発現に重要と予想される結合蛋白質を同定した上で、ハイスループットスクリーニングを実施してリード化合物候補あるいはリード化合物を取得する。最終的には副作用が軽微で腫瘍増殖抑制を呈するのみならず、遠隔転移の抑制及び既

存抗がん剤の効果増強を示す新規分子標的薬の創出に繋げる。

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。